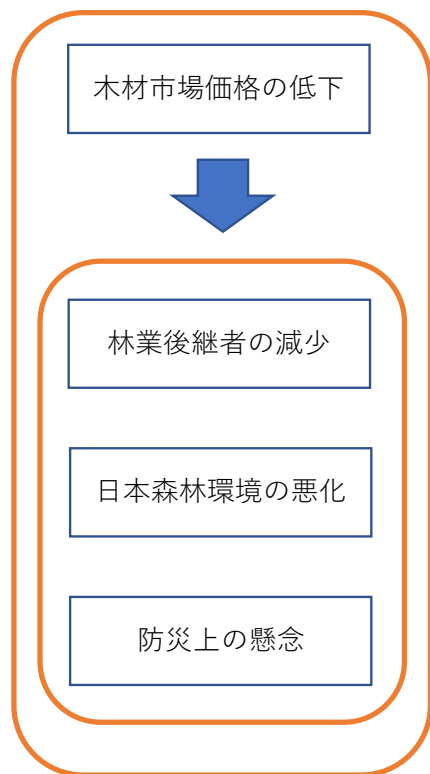
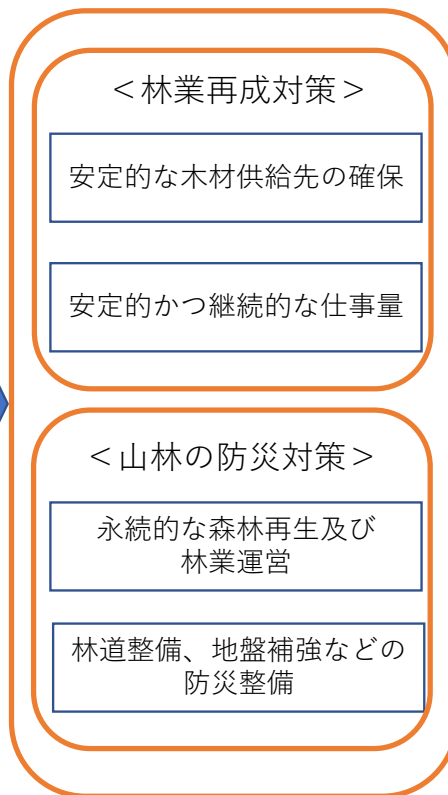


SDKバイオマス発電ストラクチャー

< 林業の現状及び問題点 >



< 再生可能エネルギーである
バイオマス発電所への燃料供給 >

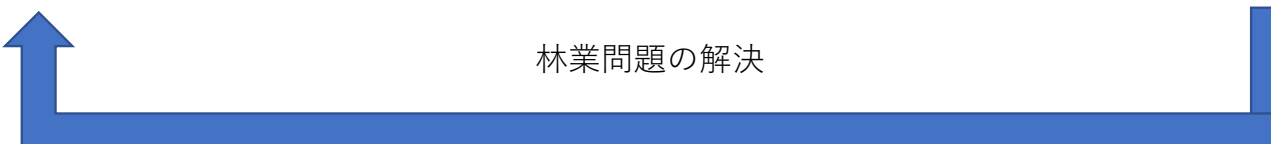


< 計画的な伐採と植林 >



伐採・植林業務発注

林業問題の解決



林業の現状及び問題点

木材市場価格の低下

- ・ 30年前と比べ木材市場価格が約40%～20%に低下



林業後継者の減少

- ・ 林業従事者の高齢化及び撤退
- ・ 市場価格低下による市場縮小



日本森林環境の悪化

- ・ 林道未整備のため封鎖
- ・ 放置森林増加のため山林地盤の弱体化



山林壁面化による防災支障

- ・ 災害（地震および津波等）時の避難経路封鎖
- ・ 樹木の根腐れにより地盤が弱体化して山崩れ、土石流災害の影響



林業再生対策

木材供給先の確保

- ・ 安定的な販売先の確保
- ・ 間伐で得た未利用材の販売



安定的かつ継続的な仕事量

- ・ 林業従事者の生活保障（保険、年金等）
- ・ 日本全国の林業業者間ネットワーク構築



永続的な森林再生及び林業運営

- ・ 計画的な間伐および植林による長期的な運営



防災整備

- ・ 防災整備のための積極的な補助金利用
- ・ 林道整備による避難路の確保
- ・ 山林メンテナンス（間伐・植林）のにより地盤補強



バイオマス発電所

有効かつ長期継続的な日本林業再興対策としてバイオマス発電所建設が有効である。林業と密接に関係しているため高いシナジー効果が期待でき、SDGsへの貢献が可能。また創出した利益を地元還元する（雇用、納税）ため地域活性化に繋がる。

- 安定的かつ恒久的な未利用材の販売先
- 地元雇用の創出（2 MWクラス発電所にて20名雇用）
- 自治体への納税による地域貢献および発展に寄与
- 20年以降の地産地消電力（2 MW当たり3000世帯）を地域電力として確保
- 災害時の避難場所としての有効活用
- SDGs（持続可能な開発目標）への貢献

バイオマス発電所を通じたSDGsへの貢献①



4 質の高い教育を
みんなに

質の高い教育をみんなに

- ・ バイオマス発電所及び林業を通し、国内だけでなく国外の人材を獲得および教育する
- ・ 実地経験を通じ、技能や資格取得のサポートを行う



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

エネルギーをみんなに、そしてクリーンに

- ・ 化石燃料からバイオ燃料に移行する
- ・ 2 MWバイオマス発電所で約9,000トン/年間の二酸化炭素（CO₂）削減が可能



8 働きがいも
経済成長も

働きがいも経済成長も

- ・ 地域雇用を創出し、地域経済の活性化を目指す
- ・ バイオマス発電所と林業のサイクルを利用し生産的かつ働きがいのある仕事を形成する

バイオマス発電所を通じたSDGsへの貢献②

12

つくる責任
つかう責任



つくる責任、つかう責任

- ・木材を消費するだけでなく、間伐後には植林を行い森林再生サイクルを形成する
- ・FSC認証取得した林業者からチップ燃料を購入するため間接的にSDGsへの貢献が可能

13

気候変動に
具体的な対策を



気候変動に具体的な対策を

- ・放置林を間伐および整備することで森林再生を促進し防災整備を行う
- ・林道整備をおこない災害発生時の地域住民の避難場所を確保する

15

陸の豊かさも
守ろう



陸の豊かさを守ろう

- ・地域森林の持続可能な経営を促進し、劣化した森林の回復を目指す
- ・バイオマス発電と林業を組み合わせたスキームを日本全国に展開し、今後起こりうる災害に備え日本各地域の森林再生を進める